

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



17.8.31
週報第 654 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第34週 (8/21~8/27) (33週)	
	発生数 (人)	前週との比較
川崎病	1 (0)	→
ヘルパンギーナ	5 (8)	↘
感染性胃腸炎	26 (14)	→
溶連菌咽頭炎	5 (5)	→
咽頭結膜熱	2 (2)	→
水痘	3 (2)	↗
RSウイルス	15 (27)	↘
手足口病	8 (10)	↘
突発性発疹	2 (4)	↘

(参考) 秋田県の状況 第33週 (8/14~8/20)
<全県の発生状況>
1位：手足口病 (全県で前週より4%減少)
2位：感染性胃腸炎 (全県で前週より33%増加)
3位：RSウイルス (全県で前週より2.4倍増加)
4位：ヘルパンギーナ
5位：咽頭結膜熱
県内 警報・注意報
警報：手足口病 (大館・由利本荘・湯沢)
警報：咽頭結膜熱 (湯沢)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報 (8/29)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	その他
施設 (数)								
保育所・園 (35)		1		2		2	1	30
小学校 (22)					1	1		
中学校 (8)								
高校 (7)								
特別支援学校			1					

感染症情報収集システムより (人)



続報! 県内のRSウイルス感染症が2.4倍

~乳児は要注意~

先週もお伝えさせていただきましたが、RSウイルスに感染することで起こる小児の呼吸器感染症です。



1歳未満の乳児では中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行する場合があります。さらに、無呼吸発作を起こすなど重症化し、入院が必要となる場合があります。大きくなると、免疫機能により、症状は軽く済みますが、乳児は特に注意が必要です。